

豊中市立第十二中学校3年 進路だより

# NAVIGATOR

2022. 4. 18

No.1



いよいよ3年生がスタートしました。新しいクラスはどうか。これから始まる新しい生活に、期待に胸を膨らませている人も多いと思います。逆に、仲良かった友達と離れて残念に思っている人もいるかもしれません。いずれにせよ、中学校生活最後の1年間です。これまでの2年間でみなさんは行事やクラブ・クラスのさまざまな場面を通じていろいろな経験をして、大きく成長してきました。そのなかで学んだことを生かして、この1年間で充実したものにしてほしいと思っています。

3年生では、6月に『修学旅行』という大きなイベントがあります。体育大会など、他にもいろいろな行事がありますが、どの行事も中学校生活の『最後』の行事になります。これらの行事を思いっきり楽しみ、中学校生活の締めくくりとなるにふさわしい、素晴らしい思い出を作っていってほしいと思います。しかし、楽しいことばかりではありません。「3年生」は自分自身の『進路決定』というもうひとつの大きな締めくくりをしなければならない1年です。また、15歳という年は、義務教育最後の1年でもあります。中学校を卒業したら、高校に行くこともできます。高等専修学校に行くこともできます。自分で決めていくということは、非常に厳しいことです。しかし厳しいからといって決して逃げ出しはいけません。この1年間自分がどんな道を進んでいったらいいのかを真剣に考えてください。そしてその厳しい壁を乗り越えてください。『自分は大丈夫だ』と自信満々の人なんていません。だれもがみんな不安に思うことがあるでしょう。そういうときに、励ましあえる、支えあえるような友達関係、クラスを作っていってほしいものです。48期生のみなさんが、自分自身の進路を考える中で、「参考」にこの「NAVIGATOR(ナビゲーター)」を活用してほしいと思います。「ナビゲーター」とは指針者という意味です。つまり、どちらの方角に進めばよいかを示してくれる人やものを指します。ただし、どちらの方向に進むかを最終的に決定するのは自分自身です。これから1年間、進路を考えていく上で、疑問点が生まれ、相談したいことがあれば、遠慮なく先生方に話してください。そして、家の人たちとも十分に話しあうようにしてください。また、この「ナビゲーター」は、保護者の方にも必ず読んでもらってください。そして、No.1 からファイルに綴っておくようにしてください。この1年間、48期生のみなさん全員が、全力で自分の進路を考え、一人ひとりが胸をはって自分の選んだ道に向かって旅立っていかれることを願っています。

「進路」っていうけど、何をしたらいいのか？

さて3年生になって、常に「進路」というのが、話題にあがってきます。この「進路だより」でも、何度もでてきます。

① とにかく、勉強をしましょう！

「日頃の勉強の積み重ね」これが大事です。今までの十二中生も全員で受験に向かう雰囲気を作ってきて、乗り越えてきていました。一人ひとりが思いやり、全員で受験を乗り越えて、来年4月の自分の居場所を作っていきます。とにかく、勉強。

② なりたい自分を想像しましょう！

大阪府内に高校だけでも260校以上あるので、今からそれを決めるのは難しいと思います。だから、この4月は「どんな自分になっていて、どんな風に過ごしていきたいか。」をイメージしながら過ごすといいでしょ。例えば「高校でも今やっているクラブを続けたい」「ファッションのことに興味があるから、デザインや販売の勉強もしたい」「自分のやりたい事があって、時間をかけたいから家から近い学校がいい」などなど。まずは、なりたい自分を想像するところから始めてみましょう。

自分で自分の進路を切り拓くことはとても大変で、大きな壁のようなものを感じるかもしれません。でも、その場その場で、やるべきことをきっちりやって小さな努力を積み重ねていけば、ちゃんと壁を乗り越える事が出来ると思います。苦手な事にも、挑戦して、ちょっとした努力を積み重ねていきましょう。

この進路だよりには、「進路に向けてこんなことしておこう！」といった内容のほかに、高校や専門学校の情報、進路の仕組みの事、オープンスクールの詳細などを載せていきます。しっかりと読むようにしましょう。

受験生に送る言葉

**がんばることが、つぎにつながる**